

株式会社日本格付研究所（JCR）は、以下のとおり信用格付の結果を公表します。

SGET 栃木メガソーラー発電所プロジェクト 信託受益権

【据置】

信託受益権格付

A

■格付事由

本件は SGET 栃木メガソーラー合同会社により、栃木県那須烏山市で行われているメガソーラー事業を対象とするプロジェクトファイナンスである。

1. 本プロジェクトの現状

発電開始から現在まで、発電量に大きな影響を及ぼすようなアクシデントやトラブル等は特段発生していない。19年10月には台風の影響によりサイトの一部で地盤沈下および発電設備の損傷が見られたが、被害規模は小さく、復旧工事は既に完了している。また、修繕費用の大部分および発電停止に伴う逸失利益は保険によりカバーされる予定である。前回の格付見直し以降、関係者の異動はなく、プロジェクトの運営はスポンサー及びO&M業者によって適切に行われている。

2. 発電実績の分析

本プロジェクトの19年7月から20年7月までの発電量の実績は、スポンサーによる当初計画値を上回った。これは、主に同期間の日射量の実績が計画値よりも良好であったこと等によると考えられる。

前回レビュー時と同様、冬季のパフォーマンス・レシオが計画値を下回っているが、発電状況に問題は見られない。過去実施したストレステストの結果と直近の実績等を踏まえ、冬季に発電効率が低下したとしても本プロジェクトの債務償還能力は保持されるとJCRはみている。

3. 格付評価

発電量の実績は計画値を上回っており、本信託受益権の信用力に影響を及ぼす事象も発生しておらず、プロジェクトは順調に遂行されている。19年10月の台風による発電設備への被害等も、プロジェクトの収支に与える影響は軽微である。冬季の発電パフォーマンス低下がキャッシュフローの見通しに与える影響は限定的であり、本信託受益権の信用力を維持できる程度に収まっていると判断される。以上から、本信託受益権の格付を「A」と据え置いた。

(担当) 阪口 健吾・石崎 滉樹

■格付対象

【据置】

対象	発行金額	信託期間満了日	クォンティティ	格付
信託受益権	2,600,000,000円	2035年9月4日	変動	A

<発行の概要に関する情報>

信託設定日	2016年11月28日
受益権譲渡日	2016年11月30日(第1回受益権)/2017年8月31日(第2回受益権)
償還	スケジュール償還
流動性・信用補完措置	なし ※裏付となる貸付債権における流動性補完・信用補完として、現金準備・優先劣後構造

<ストラクチャー、関係者に関する情報>

委託者	株式会社三井住友銀行
-----	------------

受託者	株式会社三井住友銀行
メガソーラープロジェクト運営会社	SGET 栃木メガソーラー合同会社
マネジメント・アドバイザー	スパークス・グリーンエナジー&テクノロジー株式会社
アレンジャー	株式会社三井住友銀行

＜裏付資産に関する情報＞

裏付資産の概要	メガソーラープロジェクト運営会社への貸付債権
---------	------------------------

格付提供方針に基づくその他開示事項

- 信用格付を付与した年月日：2020年9月25日
- 信用格付の付与について代表して責任を有する者：涛岡 由典
主任格付アナリスト：阪口 健吾
- 評価の前提・等級基準：
評価の前提および等級基準については、JCRのホームページ (<https://www.jcr.co.jp/>) の「格付関連情報」に「信用格付の種類と記号の定義」（2014年1月6日）として掲載している。
- 信用格付の付与にかかる方法の概要：
本件信用格付の付与にかかる方法（格付方法）の概要は、JCRのホームページ (<https://www.jcr.co.jp/>) の「格付関連情報」に、「プロジェクトファイナンス」（2012年8月28日）の信用格付の方法として掲載している。回収金口座や倒産隔離など他の付随的な論点についても上記のページで格付方法を開示している。
- 格付関係者：
(発行体・債務者等) SGET 栃木メガソーラー合同会社
(アレンジャー) 株式会社三井住友銀行
- 本件信用格付の前提・意義・限界：
本件信用格付は、格付対象となる債務について約定通り履行される確実性の程度を等級をもって示すものである。
本件信用格付は、債務履行の確実性の程度に関する JCR の現時点での総合的な意見の表明であり、当該確実性の程度を完全に表示しているものではない。また、本件信用格付は、デフォルト率や損失の程度を予想するものではない。本件信用格付の評価の対象には、価格変動リスクや市場流動性リスクなど、債務履行の確実性の程度以外の事項は含まれない。
本件信用格付は、格付対象の発行体の業績、規制などを含む業界環境などの変化に伴い見直され、変動する。また、本件信用格付の付与にあたり利用した情報は、JCR が格付対象の発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものであるが、当該情報には、人為的、機械的またはその他の理由により誤りが存在する可能性がある。
- 本件信用格付に利用した主要な情報の概要および提供者：
・格付対象商品および裏付資産に関する、関係者から入手した証券化関連契約書類
なお、上記については関係者が証券化関連契約書類上で情報の正確性に関する表明保証を行っている。
- 利用した主要な情報の品質を確保するために講じられた措置の概要：
JCR は、信用格付の審査の基礎をなす情報の品質確保についての方針を定めている。本件信用格付においては、いずれかの格付関係者による表明保証もしくは対外公表、または担当格付アナリストによる検証など、当該方針が求める要件を満たした情報を、審査の基礎をなす情報として利用した。
- JCR に対して直近 1 年以内に講じられた監督上の措置：なし

■留意事項

本文書に記載された情報は、JCR が、発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものです。ただし、当該情報には、人為的、機械的、またはその他の事由による誤りが存在する可能性があります。したがって、JCR は、明示的であると黙示的であるとを問わず、当該情報の正確性、結果的正確性、適時性、完全性、市場性、特定の目的への適合性について、一切表明保証するものではなく、また、JCR は、当該情報の誤り、遺漏、または当該情報を使用した結果について、一切責任を負いません。JCR は、いかなる状況においても、当該情報のあらゆる使用から生じうる、機会損失、金銭的損失を含むあらゆる種類の、特別損害、間接損害、付随的損害、派生的損害について、契約責任、不法行為責任、無過失責任その他責任原因のいかなるものを問わず、また、当該損害が予見可能であると予見不可能であるとを問わず、一切責任を負いません。また、JCR の格付は意見の表明であって、事実の表明ではなく、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の購入、売却、保有の意思決定に関して何らの推奨をするものでもありません。JCR の格付は、情報の変更、情報の不足その他の事由により変更、中断、または撤回されることがあります。格付は原則として発行体より手数料をいただいております。JCR の格付データを含め、本文書に係る一切の権利は、JCR が保有しています。JCR の格付データを含め、本文書の一部または全部を問わず、JCR に無断で複製、翻案、改変等を行うことは禁じられています。

■用語解説

予備格付：予備格付とは、格付対象の重要な発行条件が確定していない段階で予備的な評価として付与する格付です。発行条件が確定した場合には当該条件を確認し改めて格付を付与しますが、発行条件の内容等によっては、当該格付の水準は予備格付の水準と異なることがあります。

■NRSRO 登録状況

JCR は、米国証券取引委員会が定める NRSRO (Nationally Recognized Statistical Rating Organization) の 5 つの信用格付クラスのうち、以下の 4 クラスに登録しています。(1)金融機関、ブローカー・ディーラー、(2)保険会社、(3)一般事業法人、(4)政府・地方自治体。

■本件に関するお問い合わせ先

情報サービス部 TEL: 03-3544-7013 FAX: 03-3544-7026

株式会社 日本格付研究所

Japan Credit Rating Agency, Ltd.
信用格付業者 金融庁長官(格付)第1号

〒104-0061 東京都中央区銀座 5-15-8 時事通信ビル